

小田原市総合計画審議会委員からの質問及び市の回答一覧

通しNo.	資料番号	該当箇所	委員名	担当所管課	委員質問	回答
1	資料7	重点1	有賀	健康づくり課 (スポーツ課)	医療・福祉(3)健康寿命の延伸 具体のアクション③地区活動の充実 取組内容について、城下町おだわらツーデーマーチにおける市内外の参加者は、延べ4,061人とある。観光イベントとして定着しつつある中、市内の参加者はどの程度か？市民のための健康づくりの場となっているか。	2日間参加している方もいるため延べ人数は4,061人ですが、実人数は3,293人です。その内、市内に居住している方は1,193人、約36%を占めており、誰でも気軽にできるウォーキングの促進に、一定の効果があると考えています。
2	資料7	重点2	内山	防災対策課	「おだわら防災ナビ」のダウンロード数はどのくらいでしょうか？	令和6年6月末時点で約23,000件です。
3	資料7	重点2	内山	防災対策課	自治会との締結数について、自治会総数のうち現在合計で何自治会と締結できていますか？	令和5年度末時点で、延べ9自治会（連合会7、単位自治会2）と8つの協定を締結しています。
4	資料7	重点3	益田	保育課	多様で特色のある質の高い幼児教育・保育の実践とは、どの指標を用いて質の高いと評価するのか。	質の向上に「ゴール」はなく、目標とする視点も各園の考え方により多種多様に及びます。このため、ひとつの指標で全てを網羅することは難しく、敢て指標を設定するのであれば、「質の向上を意識して保育を行っている」園の数とし、具体的には、市が主催する質の向上の検討会等への参加率（市内園の内、どのくらいの園が参加しているか）などが考えられます。
5	資料7	重点3	内山	教育指導課	KPI指標である、将来の夢をもつ児童生徒の割合について、どのように調査をしているのか教えてください。（質問の仕方など）	全国学力・学習状況調査の質問紙調査 設問「将来の夢や目標を持っている」 選択肢「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の4択のうち、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒数の割合
6	資料7	重点4	内山	産業政策課	「働く場所の数」とは、新規企業数でしょうか？	新規立地企業数に加え、市内企業が新たな投資により増改築等を行った場合も働く場所の数に算定しています。
7	資料7	重点4	内山	産業政策課	テレワーク、ワーケーションのできる場所の利用者数についてARUYOODAWARA以外の状況はわかりますでしょうか？	他のワークスペースについては、利用者数の把握はできておりませんが、ARUYOODAWARAでの受託事業を介して、他のワークスペースとも連携し、情報収集や状況把握に努めています。
8	資料7	重点6	内山	ゼロカーボン推進課	「再生可能エネルギーの導入量」については、家庭と事業用を合わせた数値でしょうか？	家庭用、事業用の合計です。 経産省が公表している市内でFIT認定を受けた設備、および市が補助金を交付した設備の容量を合計したもので、家庭用・事業用双方を含むものとなっています。
9	資料7	重点7	奥	都市政策課	(1) 小田原駅・小田原城周辺のまちづくりの具体のアクション①都市再生整備計画によるハード・ソフト事業の展開の取組内容の記載に「生活の質の向上や地域経済の活性化、関係人口の増加を図りました」とあるが、その根拠となる具体的な数値やデータを示して欲しい。	都市再生整備計画では、計画目標を定量化する指標として①小田原駅乗車人員数、②観光客消費額等を設定しており、それぞれの数値が基準年度・基準年よりも上昇傾向にあります。 ①小田原駅乗車人員数 36,033千人【基準年度：R1年度】→28,926千人【R4年度】 ※1 定期利用者を含む乗車人員数 ※2 新型コロナウイルスの影響により、R2年度の乗車人員数が激減しているが、その後回復傾向にある（R2年度）22,637千人→【R3年度】25,060千人→【R4年度】28,926千人）。 ②観光客消費額 約205億円【基準年：R1年】→ 約351億円【R5年】
10	資料7	重点7	奥	水産海浜課	(2) 地域特性を生かしたまちづくりの具体のアクション②海を生かしたまちづくりの取組内容を見ると、そもそも「海を生かしたまちづくり」とは何を意味するのか、どのような状態をイメージしているのかが問われるものとなっている。	神奈川県が早川海岸に階段式護岸や遊歩道を整備することにより、快適で潤いのある環境を形成し、漁港の駅 TOTOCO小田原周辺エリアの魅力を高め、都市住民との交流を更に促進することを目的としています。

通しNo.	資料番号	該当箇所	委員名	担当所管課	委員質問	回答
11	資料8	施策7	奥	防災対策課	詳細施策1のKPIに危険なブロック塀の撤去数があり、既に目標値は達成しているが、撤去を要するブロック塀が他にもあるとの前提で補助を継続することとしていると思われる。そうであれば、危険なブロック塀がどこに、どれだけあるかを把握する必要があるが、全数把握はできているのか。	危険なブロック塀の箇所数については、市内全域を調査することが困難であるため把握していませんが、毎年補助金申請があることから対象になるブロック塀が残っていると考えられるため、事業継続の必要性があると考えています。
12	資料8	施策2	奥	高齢介護課	詳細施策2 KPIは取扱件数なのか、会議の開催件数なのか、どちらなのか。	KPIは「地域ケア会議」での事例等の取扱件数の合計値です。第3回会議（8/22）資料にて、総合評価の記載を修正いたします。
13	資料8	施策10	益田	子育て政策課	詳細施策1 ファミサポの支援会員数も大切だが、登録者数、利用者数も知りたい。	・依頼会員1,188人+支援会員245人=1,433人（うち両方会員42人→登録者1,391人） ・実利用者数192人（令和4年度実績）
14	資料8	施策10	内山	子育て政策課	ファミリーサポートの稼働状況や、利用者アンケートの結果などのデータがあるでしょうか？	・活動状況について、令和5年度は延べ3,478回の相互援助活動が行われています。内容としては、習い事の援助（送迎など）が1,024回、保育施設までの送迎が594回、買い物等外出の際の預かりが544件、放課後の預かりが454回などとなっています。 ・支援会員を含むすべての会員を対象としたアンケートを毎年1回実施しており、9割以上の会員がファミリー・サポート・センターに満足している。依頼会員からの自由意見では、「困ったときには大変助かっている」「何かあったときにファミサポがあるという安心感がある」「ひとり親家庭への利用料補助制度はよい取組だと思う」といった好評価がある一方、「支援会員がおらず利用できない状況」「なぜこんなに人が見つからないのか」といった支援会員の増加を望む声が寄せられています。
15	資料8	施策10	内山	保育課	保留児童が増えている背景・要因についての認識を伺いたい。	就学前児童数が減少する一方、保育所等の利用申込者数が前年度よりも増えている。市内保育所等の受入数も前年度より増加している状況を踏まえると、利用希望が特定の地域又は園に偏ったことによるアンマッチが要因と考えられます。
16	資料8	推進エンジン1	別所	広報広聴室	市のHPアクセス数については、どのページへのアクセスが多いのか、どのようなルートでアクセスされているのか等がわからないと「デジタル版の広報誌やSNSからのHPへのリンク強化」でアクセス数の増加が期待できるのかどうか不明なため、データの開示をお願いします。	各ページのアクセス数は開示が可能ですが、データの範囲については検討させていただきます。
17	資料8	推進エンジン2	有賀	政策調整課	公民連携・若者女性活躍 詳細施策1 民間企業や大学との連携 A基準の考え方としては、目標達成率が100%以上であり、事業が計画通りに進捗しているものとある。今回目標達成率が70%であるにもかかわらずA評価とされたのはなぜか。	KPIで定めている民間提案制度の提案件数に関しては、これまでの実績を踏まえると令和6年度には目標達成できるものと考えています。また、民間提案制度で事業化された豊島邸の利活用や、三淵邸・甘柑荘の活用事業に関しては、多くの方に利用していただき、地域活性化に大きく貢献していることから、目標達成率以上の成果があると考え、「A」評価と判断しました。